

カセットコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

TCM-AP5

Sony Corporation ©1996 Printed in China

安全のために

警告

- 乾電池を持ち運ぶときは、コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しないでください。乾電池の+と-が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

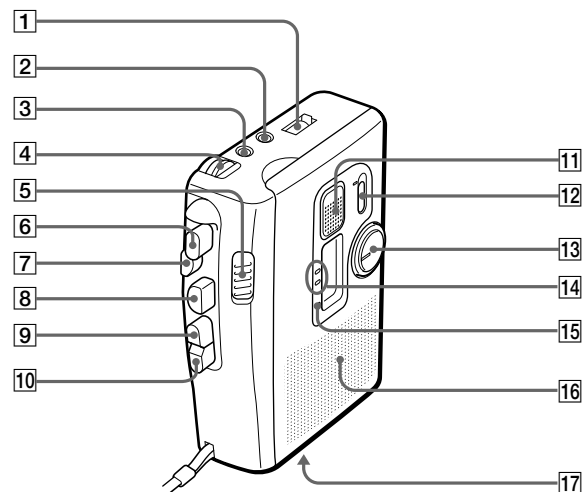
ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- カセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- 長時間テープについて
90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。

主な特長

- 再生スピードを変えると自動的に、再生ピッチ(音の高さ)も調節されるDPC - Digital Pitch Control (デジタル音程調整)機能。
- 発言者の声を明瞭にとらえるBoundary effect^{パウンダリーエフェクト}收音方式の、フラットマイク内蔵。
- 2段階のランプで知らせる録音 / 電池残量ランプと電池を交換するときを知らせる電池交換お知らせランプ。
- 一定の強さ以上の音声を検知して自動的に録音が始まり、それ以下の音声になるとテープが止まるVOR (自動音声録音スタート)機能。
- 再生・録音時にテープの終わりで自動的に動作が止まる、オートシャットオフ機能。
- 停止ボタンを押すと一時停止も解除される、ストップポーズリリース機能。解除を忘れて録音チャンスを逃してしまう失敗を減らします。

各部のなまえ



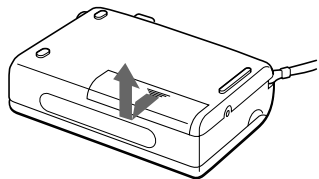
- テープカウンター
- イヤホンジャック
- マイクジャック
- 音量つまみ
- 一時停止ボタン
- 録音ボタン
- 停止ボタン
- 再生ボタン
- 巻き戻し / レビューボタン
- 早送り / キューボタン
- フラットマイク
- VORスイッチ
- スピード / ピッチコントロールつまみ
- 録音 / 電池残量ランプ
- 電池交換ランプ
- スピーカー
- DC IN 3Vジャック

準備する

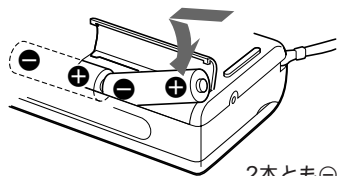
ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」をご覧ください。

1 乾電池を入れる

① 押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる



② 単3形乾電池2本を入れる



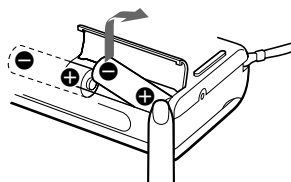
2本とも⊖側を奥に入れて

乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

ご注意

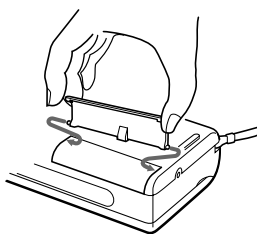
新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池を取り出すときは



電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は図のように取り付けてください。



録音する

内蔵マイクですぐに録音できます。

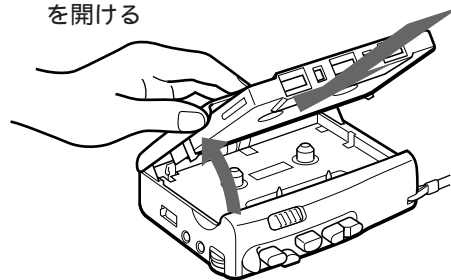
録音にはノーマルテープ (TYPE I) をお使いください。

ハイポジション (TYPE II) / メタル (TYPE IV) では正しく録音できないことがあります。

1 カセットを入れる

① 手でふたを開ける

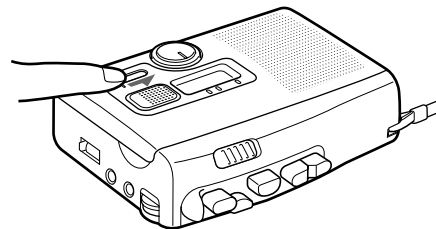
② 録音を始める面をふた側にしてカセットを入れる



③ ふたを閉める

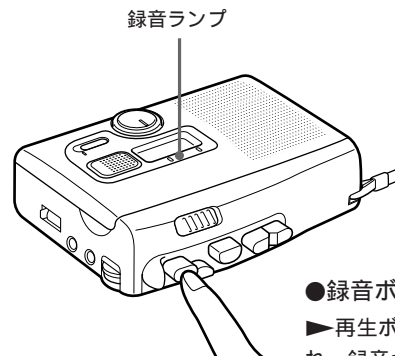
2 VORスイッチを「切」にする

ここでは通常の録音のしかたを説明します。VOR機能を使った録音については「いろいろな録音のしかた」をご覧ください。



3 録音する

録音中は、音の強弱にあわせて録音ランプの明るさが変わります。



● 録音ボタンを押す
▶ 再生ボタンが同時に押され、録音が始まります。

操作	押すボタン、ずらすつまみ
録音を止める	停止
後追い録音をする	再生中に●録音 (録音状態になる)
録音内容をすぐ聞く (ワンタッチレビュー)	録音中に◀巻き戻し/レビュー (指を離すとそこから再生する)
一時停止する	一時停止▶
	一時停止を解除するには、一時停止▶を元に戻す*
カセットを取り出す	■停止を押してから、手でふたを開ける

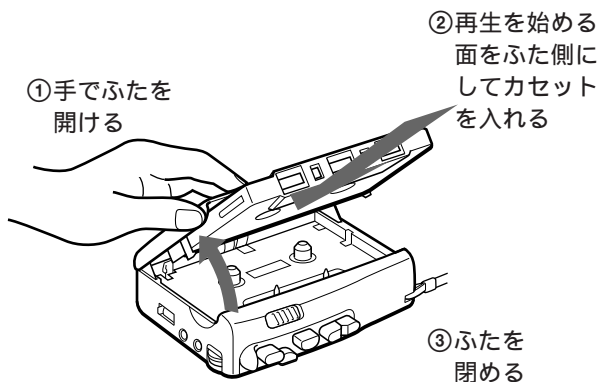
*一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます (ストップポーズリリース機能)。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

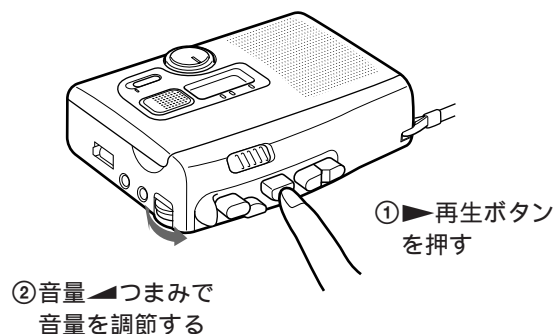
テープを聞く

内蔵スピーカーから音が聞こえます。
ノーマルテープ (TYPE I) をお使いください。

1 カセットを入れる



2 再生する

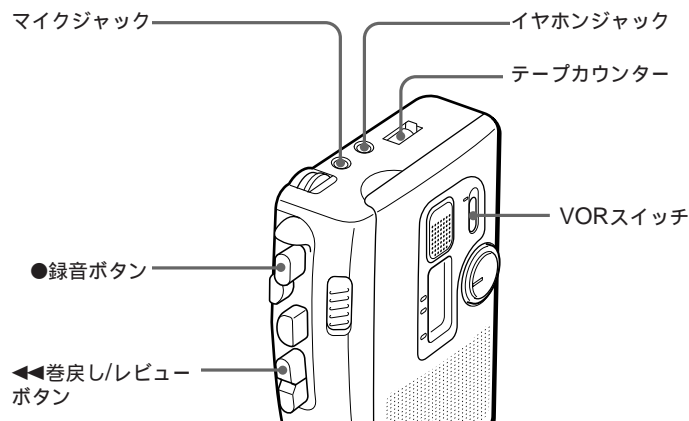


操作	押すボタン、ずらすつまみ
テープを止める	停止
一時停止する	一時停止▶ 一時停止を解除するには、一時停止▶を元に戻す*
早送りする**	▶▶早送り/キュー
巻き戻す**	◀◀巻き戻し/レビュー
音を聞きながら早送りする(キュー)	再生中に▶▶早送り/キューを押し続ける
音を聞きながら巻き戻す(レビュー)	再生中に◀◀巻き戻し/レビューを押し続ける
カセットを取り出す	■停止を押してから、手でふたを開ける

* 一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップポーズリリース機能)。

** 早送り、巻き戻しをしてテープが巻き取られたあと、そのままにしておくと電池が急激に消耗するので必ず■停止ボタンを押してください。

録音の便利な機能を使う



テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターのリセットボタンを押して「000」にします。録音の頭を探すのに便利です。

音がしたとき自動的に録音を始める(VOR機能)

VORスイッチを「高」または「低」に切り換えておきます。

録音ボタンを押すと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープを止める手間がはぶけるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。録音中にVORスイッチを「入」にすることもできます。

録音状態	つまみの位置
小さな音でも録音が始まる(会議などを録音するとき)	高
比較的大きな音のときだけ録音が始まる(近くの会話の録音やメモとして使うとき)	低

ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてVORスイッチを「低」または「高」にしてください。VORスイッチを操作しても思い通りに録音できないときは、VORスイッチは「切」にしてください。
- 音を感じてから録音が始まるので、言葉の初めの部分は録音されないことがあります。大切な録音のときはVORスイッチを「切」にしてください。

録音中の音を聞くには

付属のイヤレシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。

音量◀つまみで音量を調節しても、モニター音は変えられません。

録音される音の大きさは一定に保たれます。

後追い録音をする

再生中に●録音ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音されたものの一部分を修正したいときなどに便利です。

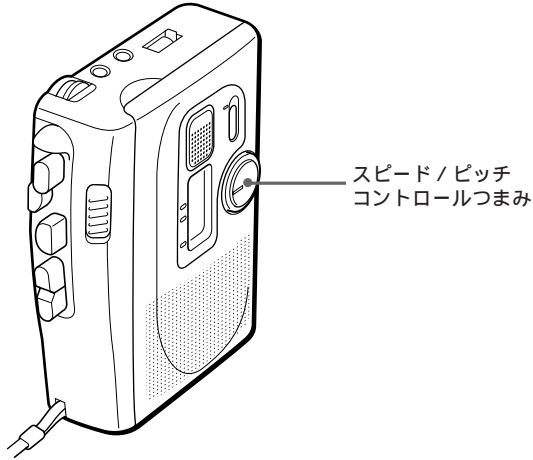
録音したものをすぐに聞く(ワンタッチレビュー)

録音中に◀◀巻き戻し/レビューボタンを押すとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

テープが終わりまでくると(オートシャットオフ機能)

録音/再生状態でテープが終わりまで巻き取られると、自動的にボタンが解除されテープが止まります。

DPC機能を使う



本体のスピード/ピッチコントロールつまみを次のように調節してください。再生速度に合わせてピッチが自動的に調整されます。

再生速度	つまみの位置
ゆっくり再生する	遅い
通常で再生する	中央
速く再生する	速い

ご注意

- DPC機能を使用したとき、原音と同じピッチにはなりません。また音質も多少異なります。
- 電池が消耗しているときに、スピード/ピッチコントロールつまみを急に動かすとノイズが出ることがあります。ゆっくり動かすか、電池を交換してください。
- スピード/ピッチコントロールの操作中または再生中に音量を調節すると、録音/電池残量ランプがちらつくことがあります。

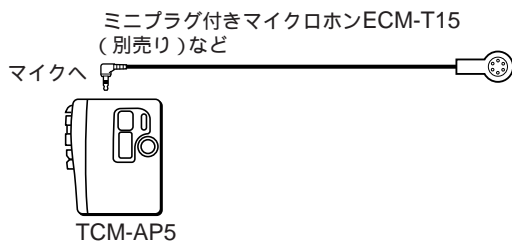
外部マイクや他の機器から録音する

ご注意 録音する前に

- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
- 下の例はソニー製品の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

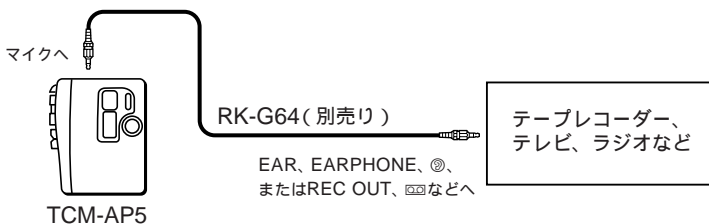
外部マイク(別売り)で録音する

マイクジャックにプラグをしっかりと差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。



本機にカセットを入れ、●録音ボタンを押します。

他の機器から録音する



- 1 本機にカセットを入れます。
- 2 録音する音を出し、聞きやすい音量にします。(テレビやラジオのREC OUTや③ジャックなどから録音するときは、音量を変えても録音には影響しません。)
- 3 ●録音ボタンを押します。

電源について

乾電池の持続時間

(EIAJ*)

使用電池	録音時	再生時
ソニールカリ乾電池LR6 (SG) 使用時	約8.5時間	約8.5時間
ソニー乾電池R6P (SR) 使用時	約2時間	約2時間

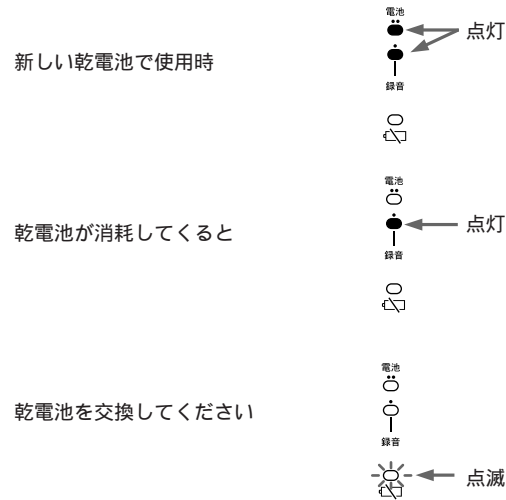
*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。(ソニーHFシリーズカセットテープ使用、音量7分目程度でミュージックテープをスピーカーで再生した場合。)

乾電池は持続時間の長いアルカリ乾電池をおすすめします。

乾電池を交換する時期

乾電池の残量は録音/電池残量ランプでお知らせします。

電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりします。電池交換ランプが点滅したら、乾電池は2本とも新しいものと交換してください。



ご注意

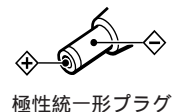
- 早送り(キュー)/巻き戻し(レビュー)中に電池交換ランプが点滅することがあります。テープが正常に動かないときのみ、電池を交換してください。
- 再生中に音量を上げたときなどに録音/電池残量ランプが音に応じてちらつくことがあります。乾電池を交換する必要はありません。
- 電池交換ランプが点滅し始めても、しばらくはテープが正常に動きますが、内蔵スピーカーから大きな雑音が出たり正しく録音されていないことがありますので、必ず乾電池を交換してください。
- テープの動きははじめやテープの終わりで、電池交換ランプが瞬間的に点灯することがあります。ランプがすぐに消えた場合は、乾電池を交換する必要はありません。

コンセントにつないで使う

- 1 ACパワーアダプターAC-E30L(別売り)を本体のDC IN 3Vジャックにつなぎます。
- 2 ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

ご注意

この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30L(別売り)(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



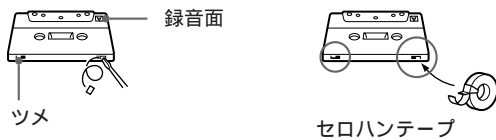
ご注意

録音について

- 録音には、必ずノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。(ハイポジション/メタルテープでは正しく録音されません。)
- マイクジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると、内蔵マイクを使つての録音はできません。
- 内蔵マイクを強く押さないでください。マイクが変形し、雑音の原因となります。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中はスピーカーから音は出ません。付属のイヤレシーバーで聞いてください。
- 録音中の音をイヤレシーバーで聞いているとき、イヤレシーバーの音をマイクが拾い、ピーという音が生じることがあります(ハウリング現象)。この場合はイヤレシーバーをはずしてください。
- 録音中はテープスピードの調節はできません。

大切な録音を守るには

カセットのツメを折ると、録音状態にできなくなるので誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音できます。



乾電池について

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間使わないときは、取り出しておいてください。
- 液もれが起こったときは、液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。
- 持ち運ぶときはキーホルダーなどの金属類と一緒にポケットに入れしないでください。乾電池の⊕⊖、または乾電池ケースの端子が金属でつながるとショートし、発熱して危険です。
- 別売りのACパワーアダプターやカーバッテリーコードをDC IN 3Vジャックにつないでいると、乾電池ではお使いになれません。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ(60以上)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - ほこりの多いところ。
- 長時間テープについて
90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。
- 長い間使わなかったときは、再びお使いになる前に、数分間再生状態にして空回しをしてください。良い状態でお使いいただけます。

キャッシュカードや定期券などで、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気に変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな？

修理に出す前にもう1度お調べください。

症状	原因/処置
録音できない。	<ul style="list-style-type: none">カセットが入っていないカセットのツメが折れている。→録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。録音/再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。
再生できない。	<ul style="list-style-type: none">テープが終わりまで巻き取られている。録音/再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。
キュー/レビュー中、途中で止まる。または動かない。早送りや巻き戻しができない。	<ul style="list-style-type: none">乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。
操作ボタンを押しても動作しない。	<ul style="list-style-type: none">乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない。→向きを確認して入れなおす。乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。一時停止■が矢印の方向へずらされている。ACパワーアダプターが正しく接続されていない。ACパワーアダプターやカーバッテリーコードが本体に差したままになっている。→ACパワーアダプターやカーバッテリーコードがジャックに差し込んでいると、それが優先されるので、乾電池使用時には本体から抜いておく。
スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">イヤレシーバーが差し込まれている。音量が最小になっている。
音が小さい。音質がよくない。雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none">乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。録音/再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。カセットテープをスピーカーの上に直接置いていた。(直接置くと音質が劣化することがあります。)メタル、ハイポジションのテープを使っている。
録音が途中で止まる。	<ul style="list-style-type: none">VORが働いている。VORを使用しないときはスイッチを「切」にする。
音が不安定で急に音程が狂う。	<ul style="list-style-type: none">スピード/ピッチコントロールつまみが中央以外の位置にある。(原音と全く同じ音程にはなりません。)乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。キャプスタンやピンチローラーが汚れている。→クリーニングする。
前の音が完全には消えない。	<ul style="list-style-type: none">消去ヘッドが汚れている。→クリーニングする。
再生速度が速すぎたり、遅すぎたりする。	<ul style="list-style-type: none">スピード/ピッチコントロールつまみが中央になっていない。
本体動作中にノイズ(カチカチ音)が入る。	<ul style="list-style-type: none">テープカウンターのリセットボタンが誤って押されている。→もう一度しっかり押して000にする。
早送りや巻き戻しをして、テープが終わりまで巻き取られたあとにカタカタと音がする。	<ul style="list-style-type: none">停止状態になっていない。→■停止ボタンを押す。

主な仕様

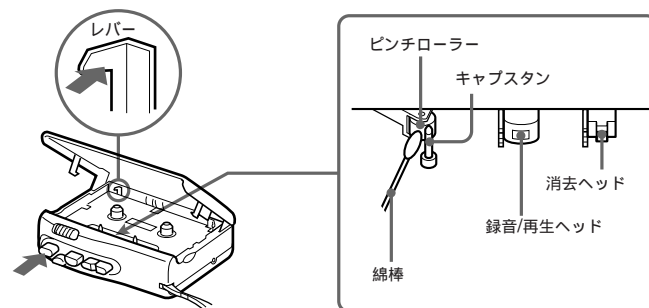
トラック方式	コンパクトカセットモノラル
スピーカー	直径36 mm、1個
周波数範囲(EIAJ*)	TYPE I(ノーマル)カセット 250~6,300 Hz
入力端子	マイク(ミニジャック/プラグインパワー対応)(1) 最小入力レベル 0.2 mV インピーダンス3k 以下のマイク用
出力端子	イヤホン(ミニジャック/モノラル)(1) 負荷インピーダンス 10 k 以下のヘッドホン用
実用最大出力(DC時)	150 mW (EIAJ)
スピードコントロール	可変範囲 約+100%~-50%
電源	DC 3V 単3形乾電池 2個
最大外形寸法	約90.9 x 113 x 37.8 mm (幅/高さ/奥行き) (EIAJ) 最大突起部含む
質量	本体 約205 g ご使用時 約275 g (乾電池R6P (SR) 2個、カセットテープC-60HFを含む)
付属品	ソニーマンガン乾電池(単3形)R6P (SR) (2)(お試し用**) イヤレシーバー (1) 取扱説明書 (1) 保証書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1)
別売りアクセサリ	ACパワーアダプター AC-E30L(極性統一形プラグ・EIAJ規格) カーバッテリーコード DCC-E230 エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-T15 接続コード RK-G64 クリーニングキット KK-41 クリーニングカセット CHK-1W

* EIAJ (日本電子機械工業会) 規格による測定値です。

** 付属のマンガン乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お手入れ



よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、レバーを押しながら、●録音ボタンを押し込んだあとに、別売りのクリーニングキット(KK-41)でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。録音/再生ヘッドはピカピカ光るような状態になるようにしてください。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はご購入日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ご購入店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ご購入店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客さま相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111